

【草花の部屋】

ラミウム (シソ科オドリコソウ属 Lamium)

和名：オドリコソウ（踊子草）

別名：ラミウム、デッドネットル

英名：Dead nettle

シソ目 多年草

原産地：ヨーロッパ

花言葉：気づかれない想い、愛嬌

花の色：赤、黄、白、緑、紫



← 写真-1 ラミウム・ビーコンシルバー
撮影日：2014年06月22日
撮影場所：タルキートナ
(USA・アラスカ州)にて
撮影者：M さん



←↑ 写真-2, 3

ラミウム・ビーコンシルバーの花
撮影日：2014年06月22日
撮影場所：タルキートナ
(USA・アラスカ州)にて
撮影者：M さん



← 写真-1

ラミウム・ビーコンシルバーの葉

撮影日：2014年06月22日

撮影場所：タルキートナ

(USA・アラスカ州)にて

撮影者：M さん

デナリ(マッキンリー)山登山のベース基地の街、タルキートナで宿泊したホテルの庭を散策中に見かけました。植村直己さんも、この街を拠点にされていたそうです。宿泊ホテルの窓からは、デナリ山が見えるはずでしたが、生憎の空模様で・・・。

園芸的に栽培されるのは、ピンクの花を咲かせるのマクラツム種と黄色の花を咲かせるガレオブドロンの2種だそうで、店頭で普通に見かけるのはマクラツムの方だそうです。

夏の暑さや乾燥に多少弱いものの強健なので、寄せ植えの葉物のほかシェードガーデンのグランドカバーの他、根じめにも使えますが、寄せ植えには向かないそうです。

< ちょっと一言 >

ラミウムの種類

アジアの温帯やヨーロッパなどに、約40種が分布していると言われています。代表的な品種は・・・。

＊ラミウム・マクラツム(L. maculatum)

単に「ラミウム」というと本種を指すそうです。

＊ラミウム・スターリングシルバー(L. maculatum Sterling Silver)

葉がシルバークリーン、桃色の花を咲かせる品種。

＊ラミウム・ガレオブドロンの(L. galeobdolon)

葉に銀白色の斑が不規則に入り、黄色い花を咲かせる品種。別名「キバナオドリコソウ」。

＊ラミウム・ビーコンシルバー(L. maculatum Beacon Silver)

葉全体が薄いシルバークリーンで、緑色の縁取られている品種。